相生町内会個人情報取扱規則

【目的】

第1条 この取扱規則は、相生町内会（以下「本会」という）規約第33条の規定に基づき、本会が保有する個人情報について適正な取扱いを確保することを目的として定める。

【責務】

第2条 本会は、個人情報の保護に関する法律（以下「法」という）などを遵守するとともに、町内会活動において個人情報の保護に努める。

【周知】

第3条 本会は、この取扱規程を、本会会員に周知し、いつでも閲覧できることとする。

【管理者】

第4条 本会における個人情報の管理者は、町内会会長とする。

【取扱者】

第5条 本会における個人情報の取扱者は、町内会役員および要援護者を支援する者とする。

【秘密保持義務】

第6条 個人情報の管理者・取扱者は、職務上知ることができた個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。その職を退いた後も、同様とする。

【個人情報の取得】

第7条 本会は、会長が「相生町内会加入届」などを、会員又は会員になろうとするものから受理することにより、個人情報を取得する。

2 要援護者の支援などのため必要となる、法に規定する障害や病歴などの要配慮個人情報を取得する際は、本人の同意を得て取得する。

3 本会が会員から取得する個人情報は、氏名（家族、同居人を含む）、生年月日、性別、住所、電話番号、緊急時の援護の要否、避難支援などを必要とする事由、緊急時連絡先、その他連絡事項などで会員が同意する事項とする。

4 本会が会員名簿などを作成する場合、名簿に記載される個人情報は、氏名・生年月日・性別などのうち会員が同意する事項とする。

【利用】

第8条 本会が保有する個人情報は、次の各号に掲げる活動などに際して利用する。

(1) 会費の請求、管理、その他文書の送付など

- (2) 会員名簿の作成及び会の区域図の作成
- (3) 慶弔などの対象者の把握
- (4) 災害などの緊急時における支援活動
- (5) 災害時に備えた要援護者との日頃からの関係づくり

【管理】

第9条 個人情報、会長又は会長が指定する役員が保管するものとし、適正に管理する。
2 不要となった個人情報は、適正かつ速やかに復元不可能な状態にして廃棄する。

【提供】

第10条 個人情報は、次に掲げる場合を除き、あらかじめ本人の同意を得ないで第三者（委託・共同利用の相手を除く）に提供してはならない。

- (1) 会員本人から個人情報を取得する際、同意を得ている範囲で提供する場合
- (2) 法令に基づく場合
- (3) 人の生命、身体又は財産の保護のために必要な場合
- (4) 公衆衛生の向上又は児童の健全育成の推進に必要な場合
- (5) 国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が、法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合

【第三者提供に係る記録の作成等】

第11条 情報取扱者は、個人情報を第三者（県・市役所・区役所を除く）に提供したときは、個人情報保護法第25条に定める第三者提供に係る記録を作成し、保存する。

【第三者提供を受ける際の確認等】

第12条 情報取扱者は、第三者（県・市役所・区役所を除く）から個人情報提供を受けるに際しては、個人情報保護法第26条に定める第三者提供を受ける際の確認を行い、記録を作成し、保存する。

【開示】

第13条 会員は、第7条の規定に基づき提供した会員本人の個人情報について管理者に対し開示を請求することができる。

2 管理者は、会員本人から会員本人の個人情報の開示について請求があったとき、個人情報保護法第28条第2項に該当する場合を除き、本人に開示する。

【個人情報の訂正等】

第14条 会員は、第7条に基づき提供した会員本人の個人情報について、管理者に対し訂正などを求めることができる。

2 前項の請求があった場合、管理者は直ちに該当する個人情報の訂正などを行う。ただし、

各会員にすでに配付されている会員名簿などは、訂正などについて会員に連絡することをもってこれに替えることができるものとする。

【漏えい発生時などの対応】

第15条 情報取扱者は、個人情報情報を漏えい、滅失、き損などの事案の発生又はその兆候を把握した場合は、管理者に連絡する。この場合において管理者は、事実及び原因の確認、被害拡大の防止、影響を受ける本人への連絡、再発防止などの対応を行う。

【開示請求及び苦情相談窓口】

第16条 本会における、開示請求及び苦情相談窓口は、町内会長とする。

【委任】

第17条 この規則に定めるものの他に運用に必要な事項は、本会執行役員会が定める。

【附則】

制定 令和5年3月5日

この取扱規則は、令和5年4月1日から施行する。